

I-3 健康増進課

1 保健・医療・福祉包括ケアシステムの推進

保健・医療・福祉包括ケアシステムとは、地域のすべての住民がたとえ疾病や障害をもっても、生きがいをもち、安心・安全な生活を送ることを目的に、保健・医療・福祉等の各機関が十分に役割を果たすことができる仕組みを推進するものです。

(1) 下北地域保健・医療・福祉包括ケアシステム推進会議

保健・医療・福祉包括ケアシステムの構築に向け、2次保健医療圏及び市町村の実情に応じた体制整備について協議検討を行うため、下北地域保健・医療・福祉包括ケアシステム推進会議を開催しました。平成20年度から下北地域保健医療推進協議会と併催し、健康あおもり21下北圏域計画の最終評価及び第2次計画について協議しました。

開催日	平成26年9月2日(火)	平成27年3月12日(木)
開催場所	むつグランドホテル	むつグランドホテル
参加者	委員17名、オブザーバー5名、事務局9名	委員15名、オブザーバー2名、事務局8名

(2) 保健・医療・福祉包括ケアシステムに係る現地懇談会

知事が市町村を訪問し、市町村保健師や関係職員との意見交換等を通じて、青森県における保健・医療・福祉包括ケアシステムの現状を把握するとともに、包括ケアシステム構築の底上げを図るため、平成24年度から実施されています。

開催日 平成27年3月23日(月)

開催場所 風間浦村総合福祉センターげんきかん

参加者 東通村：村長、課長、保健師等 7名

青森県：知事、健康福祉部長、県民局長、保健所他 17名

(3) 地域・職域連携推進協議会

地域保健と職域保健の連携により、生涯を通じた継続的な保健サービスの提供体制を整備することを目的とし、地域・職域連携推進協議会を開催しました。平成21年度から地域保健医療推進協議会保健対策部会と併催し、健康あおもり21下北圏域計画(第2次)について協議しました。

	第1回	第2回
開催日	平成26年9月2日	平成27年3月12日
開催場所	むつグランドホテル	むつグランドホテル
参加者数	部会員14名、オブザーバー(市町村)5名、事務局9名	部会員16名、オブザーバー(市町村)2名、事務局8名

(4) 下北管内で開催されている各種協議会等への参加

保健・医療・福祉の関係者が連携を強化し、地域にある既存の社会資源を有効活用し、サービスを必要な人に一体的に提供できることを目的とした各種会議等に委員として参画しました。

下北管内で開催されている各協議会等への参加

会議名	内 容	開催日
地域連携パス推進協議会及び実務者連絡会	公務都合により欠席した。	
むつ下北地域看護と介護の連携作り委員会	・むつ下北地域橋渡し研修会について ・その他情報交換 於：むつ総合病院	H26. 5. 29 (木) H26. 8. 28 (木) H26. 11. 26 (木)
むつ下北地域橋渡し研修会	テーマ：認知症について 講 師：藤代健生病院 認知症看護認定看護師 相馬 千加子 取り組み事例報告 (3 例)、グループワーク 於：公済会館	H26. 9. 6 (土)
下北地域リハビリテーション広域支援センター連絡協議会	・事業報告及び事業計画について 於：むつ総合病院	H26. 7. 7 (月)
地域リハ研修会	テーマ：「在宅療養を支えるためには」 講演 1 訪問リハビリテーションの取り組み 講 師：みちのく訪問リハビリテーションセンター 理学療法士 吉田 麻美 むつリハビリテーション病院 理学療法士 中村 正直 介護老人保健施設のはなしょうぶ 作業療法士 落合 利香 講演 2 訪問看護の取り組み 講 師：公済会訪問看護ステーションやまびこ 訪問看護認定看護師 坂田 千佳子 むつ総合病院メンタルヘルス科 メンタルヘルス科外来看護師長 坂田 晃 主任技師 (作業療法士) 福士 敏弘 講演 3 訪問診療の取り組み 講 師：みちのくクリニック 院長 川部 汎康 於：公済会館	H26. 10. 18 (土)
市町村地域ケア会議	むつ市 於：むつ市役所	H26. 4. 16 (水) H27. 3. 18 (水) 研修会 H26. 9. 10 (水)
	大間町 於：老人福祉施設くろまつ	H26. 4. 17 (木) H26. 8. 21 (木) H26. 12. 11 (木)
	大間町多職種連携症例検討会 於：大間病院	H26. 10. 7 (火)
	協働創出ワークショップ「コラボ・ラボ」 於：北通り総合文化センターウイング	H26. 11. 24 (月)

(5) 市町村保健福祉活動への支援

市町村が行う保健福祉サービスの向上と、県内・圏域における保健福祉に関する情報の収集・提供等を行うことにより、管内地域健康福祉施策の円滑な実施を図ることを目的に、市町村の求めに応じて、下北地域県民局地域健康福祉部が持つ機能を活用し支援を行っています。

市町村保健福祉活動への支援

市町村名	市町村からの要望とその他の支援内容	支援回数
むつ市	①保健協力員研修会 ②食生活改善推進員総会、研修会、養成講座 ③メディコトリム ③精神ケース検討、同行訪問 ④むつ市地域保健協議会 ⑤むつ市地域ケア会議 ＊その他の支援 ・むつ市健康増進計画策定委員会 ・H26 年度障害福祉計画等策定委員会 ・高齢者・障害者虐待防止等連絡協議会、要保護児童対策地域協議会 ・むつ市健康づくり宣言に係る支援	年 41 回
大間町	①保健協力員総会・研修会 ②食生活改善推進員総会 ③保健活動計画会議・評価会 ④健康づくり推進協議会 ⑤地域ケア会議 ⑥健康づくり宣言セレモニー ⑦サークル等育成事業	年 12 回
東通村	①保健師活動打ち合わせ・評価会 ②健康づくり推進協議会 ③メディコトリム ④ヘルスプロモーションカー実証プロジェクト会議 ⑤食生活改善推進員総会・研修会 ⑥ケース会議 ⑦虐待等対策支援ネットワーク会議	年 19 回
風間浦村	①保健活動計画会議・評価会 ②健康づくり、第 2 次計画に伴う支援 ③食生活改善推進員研修会 ④現地懇談会 ⑤保健協力員研修会 ⑥健康づくり推進協議会 ⑦メディコトリム ⑧健康増進コーナー	年 15 回
佐井村	①保健協力員総会 ②食生活改善推進協議会総会 ③保健協力会、食生活改善推進協議会合同研修会 ④佐井村健康フェスティバル（健康づくり宣言） ⑤健康づくり事務打合せ	年 5 回

2 健康づくり

(1) 喫煙対策推進事業

喫煙はがん及び心臓病の重要な危険因子とされるとともに、また、喫煙者だけでなく、周囲の非喫煙者にも健康被害を及ぼすことから、喫煙による健康被害に対する予防意識の普及啓発を図ることを目的に事業を実施しました。

ア 健康あおもり推進隊『空気クリーン施設（受動喫煙防止対策実施施設）』

『空気クリーン車（受動喫煙防止対策実施車両）』推進事業

現在、空気クリーン施設の登録は165件になっています。

<平成26年度登録状況>

認証施設の 種類	官 公 庁	文 化 施 設	保 育 施 設	教 育 施 設	医 療 施 設 (機 関)	福 祉 ・ 介 護 施 設	体 育 施 設	事 業 所	公 共 交 通 機 関	飲 食 店	宿 泊 施 設	そ の 他	タ ク シー 等 の 車 両	計
交付済数	8	6	61	39	25	2	9	0	7	1	7	0	165	

イ その他

事業名	テーマ	対象者 参加者	内容
研修会	①受動喫煙と「空気クリーン施設」について ②生活習慣と子どもの健康～受動喫煙を防止しましょう～	①食品衛生責任者 講習会受講者 4回 279名 ②奥内小学校保護 者 40名	①ミニ講話 ②講話
検討会	妊産婦の喫煙対策について	第1回むつ・下北管 内母子保健ネット ワーク会議 出席者 15名	意見交換
広報活動	①ポスターの掲示・パン フレット配布 ②合同庁舎内放送	①一般住民 ②県民局職員	①禁煙週間及び空気ク リーン施設依頼時 ②禁煙週間時

(2) 糖尿病予防対策

糖尿病保健医療連携支援システム構築事業（管内独自の取組）

糖尿病精検結果、治療不要となった方が、糖尿病の発症を防ぐための生活習慣改善に取り組めるよう平成 21 年度むつ市とむつ総合病院をモデルとして医療連携支援システムの構築を目的として事業を展開し、平成 22 年度以降は大間病院や開業医と管内町村へ連携を拡大しました。

ア 糖尿病保健医療連携支援システム構築事業市町村担当者会議

平成 26 年度は都合により開催なし。

イ 糖尿病保健医療連携支援システム活用状況

年度	件数	協力医療機関数	市町村
21	2	むつ総合病院	むつ市
22	12	むつ総合病院、大間病院、開業医 1 か所	管内 5 市町村
23	22	むつ総合病院、大間病院、開業医 5 か所	管内 5 市町村
24	41	むつ総合病院、大間病院、開業医 7 か所	管内 5 市町村
25	63	むつ総合病院、大間病院、開業医 11 か所	管内 5 市町村

(3) 減塩の推進とバランスのよい食生活の普及

食の環境づくり（外食栄養成分表示店定着促進等事業）

外食利用者が栄養情報に基づく適切な料理選択を行えるよう外食栄養成分表示店を拡大し、食生活を要因とする生活習慣病予防を図ることを目的に実施しました。

管内における外食栄養成分表示店はむつ市 20 件、大間町 1 件、東通村 2 件、風間浦村 2 件、佐井村 2 件の合計 27 件でした。

(4) 健康教養普及定着事業

県民の行動変容に繋がるよう各ライフステージに関わる関係機関が連携・協働してエビデンスに基づく情報・資料を作成し、普及啓発活動を行うとともに、共通の情報を繰り返し県民に提供できるよう保健協力員、食生活改善推進員等の地区組織団体を対象とした研修を行い普及啓発の担い手を育成することを目的に実施しました。

ア 健康教育サポーター人材育成研修会

開催日	内 容	場 所	参加者数
平成 26 年 5 月 16 日 (金)	講話 ①「来さ MY 健康！めざせ下北平均命アップ！～I LOVE 下北健康 21(第 2 次)～」 ②「地域の野菜摂取量アップ活動を進めるにあたって」 講師 下北地域県民局地域健康福祉部 保健総室 主幹 加賀谷 久子 技師 盛 美咲	下北文化会館	むつ保健所管内食生活改善推進員連絡協議会研修会参加者 68 人
平成 26 年 11 月 4 日 (火)	講話「今を変えれば！未来は変わる！！ 健康教養向上に向けて～生活習慣病を 切口として」 講師 一般社団法人青森県薬剤師会衛生検査センター所長 川村 仁	むつ来さまい館	下北地方保健協力員 連絡会研修会 84 人

開催日	内 容	場 所	参加者数
平成 27 年 1 月 27 日 (火)	講話 ①「大間町の健康課題について」 ②「楽しく体を動かそう～大人のラジオ体操～」 講師 大間町 保健師 三國美穂 インストラクター 佐々木絵理子	大間町総合開発 センター	大間町女性団体連絡 協議会 31 人
平成 26 年 6 月 5 日 (木) 9 月 9 日 (火) 11 月 13 日 (木) 平成 27 年 3 月 5 日 (木)	講話 ①「下北地域の健康課題について」 ②「受動喫煙と空気クリーン施設について」 講師 下北地域県民局地域健康福祉部 保健総室 技師 盛 美咲 技師 新岡 亜希	下北文化会館	食品衛生責任者講習 会参加者 279 人
平成 26 年 4 月 ～平成 27 年 3 月	①講話「日本一の短命県返上・健康増進と その対策について」 講師 一般社団法人青森県薬剤師会衛生 検査センター所長 川村 仁 ②「来さ MY 健康！めざせ下北平均寿命ア ップ！～I LOVE 下北健康 21(第 2 次)～」 ③下北地域版「健やか力」向上併発 DVD の 放映 ②③は、むつ保健所職員	各事業所、ホテ ル、集会所等	事業所職員、組織・ 団体の会員等 1,109 人

3 栄養改善

(1) 給食施設栄養管理指導事業

安全で栄養効果がある給食実施が適切に行われるために、給食従事者に対し栄養管理、衛生管理等について研修会や個別巡回指導を実施しました。

ア 給食施設栄養管理指導事業研修会

開催日	内 容	場 所	参加者
平成26年11月 10日 (月)	情報提供 「日本人の食事摂取基準 (2015 年版) の概要」 むつ保健所健康増進課 技師 盛美咲 情報交換 「肥満・痩せの対象者への栄養管理、栄 養教育について～それぞれの職場での 対応を紹介し合いましょう～」	むつ来さまい館	管内給食施設91施設中49施設 (64名) が参加 (内訳:管理栄養士・栄養士 31名、調理師・調理員27名、 施設長2名、その他4名)
平成27年2月 10日 (火)	講義 「食事摂取基準の改定と青森県の現 状」 むつ保健所健康増進課 技師 盛美咲	むつ保健所会議 室	下北地区学校栄養士8名

イ 給食施設巡回指導

年度	個別巡回指導		給食施設数	
	栄養士の いる施設	栄養士の いない施設	栄養士の いる施設	栄養士の いない施設
24	41	27	41	26
25	39	28	40	28
26	43	28	44	28

(2) 市町村栄養改善業務支援事業

市町村保健計画の企画・立案及び地域住民を対象とした栄養相談等の栄養改善業務に従事する者の資質の向上を図り、市町村の栄養改善事業の推進を図ることを目的としています。

管内市町村栄養士の配置は、平成26年4月現在、むつ市に4名配置されています。そのほかの管内町村の栄養改善業務は、主に在宅栄養士が担当しています。

ア 連絡調整会議・研修会

	開催日	内 容	場 所	出席者
連絡調整 会議	平成27年3月 4日(水)	<研修伝達> 「平成26年度保健所管理栄養士政策能力向上シンポジウム、平成26年度全国保健所管理栄養士会スキルアップ講座」 むつ保健所 技師 盛美咲 <意見交換> 栄養改善業務について その他	むつ保健所会 議室	むつ市健康推進課2名 むつ市大畑庁舎1名
研修会	平成26年11 月10日(月)	<情報提供> 「日本人の食事摂取基準(2015年版)の概要」 むつ保健所 技師 盛美咲 <情報交換> 「肥満・痩せの対象者への栄養管理、栄養教育について～それぞれの職場での対応を紹介し合いましょう～」 (給食施設栄養管理指導事業研修会と併催)	むつ来さまい 館	むつ市健康推進課2名 むつ市児童家庭課1名 むつ市大畑庁舎1名

イ 保健所栄養士による市町村栄養改善業務援助回数

年度	むつ市	大間町	東通村	風間浦村	佐井村	合計
24	4	4	1	0	2	11
25	7	1	0	3	1	12
26	7	2	2	1	0	12

4 母子保健

(1) 未熟児等情報共有システム

未熟児は、正常な新生児に比べて生理的に未熟で、疾病にかかりやすく、心身に障害を残すことがあり、未熟児を養育する保護者の不安等も強いことから、未熟児等訪問指導を通じて育児支援を適切にすすめ、関係機関と情報を共有し連携体制構築のため運用しています。

平成 26 年度未熟児等情報共有システム運用状況

市町村	低出生体重児数	未熟児等出生連絡票 受理数	未熟児等訪問指導連絡票 発行数
むつ市	27 件	21 件	24 件
大間町	5 件	2 件	4 件
東通村	1 件	1 件	1 件
風間浦村	0 件	0 件	0 件
佐井村	3 件	0 件	0 件
計	36 件	24 件	29 件

(2) 療育相談指導事業

身体の機能に障害のある児又は機能障害を招く恐れのある児を早期に発見し、適切な治療上の指導を行い、その障害の治療もしくは軽減を図ることを目的に療育相談を年 4 回開催しました。

また、身体障害児について障害の状況及び療育の状況を随時把握し、その状況に応じて適切な福祉の措置について指導しています。

相談者

相談目的	相談者数 実人数 (延人数)
運動発達	20 (27)
運動発達及び 補装具に関すること	2 (3)
計	22 (30)

※ 今年度新規相談者実人数 6 人

相談結果 (延べ件数)

	要治療	経過観察	異常なし	計
肢体不自由	2	18	1	21
視覚障害				
聴覚・平衡機能障害				
音声・言語・そしゃく 機能障害		6		6
心臓機能障害				
腎臓機能障害				
その他		3		3
計	2	27	1	30

※ 補装具相談延べ 3 件

(3) 長期療養児療育指導事業

疾病により長期にわたり療養を必要とする、いわゆる長期療養児について適切な療育を確保するために、その疾病の状況及び療育の状況を随時把握するとともに、その状況に応じた適切な指導を行い、長期療養児の日常生活における健康の保持増進及び福祉の向上を図りました。

ア 療育相談（ひまわり相談・面接指導等）の実施状況

() 実人員

	利用者数			相談内訳数								
	計	男	女	申請	医療	看護	福祉	就学	栄養	歯科	他	計
定期 (12回)	0	0	0									0
随時	(13) 20	(8) 13	(5) 7	20	0	1	0	3	0	0	0	24
合計	(13) 20	(8) 13	(5) 7	20	0	1	0	3	0	0	0	24

イ 訪問指導 ※アの再掲

訪問指導者数		
計	男	女
(1)	(0)	(1)
3	0	3

疾患名

- ・悪性新生物
- ・膠原病
- ・糖尿病
- ・神経・筋疾患
- ・慢性心疾患 等

ウ 電話相談 : 延べ人数 6 人

(4) 妊産婦支援体制整備事業

ア 母子保健ネットワーク会議

保健と医療、福祉及び教育等の連携を一層強化することにより妊産婦及び思春期からの健康管理の徹底を図り、周産期死亡率等の改善に資することを目的としています。

構成団体（教育、保護者、医療、保健、福祉、その他団体の関係者）

開催日	内 容	場 所	参加者
第1回 平成26年 10月30日 (木)	平成26年度第1回むつ・下北管内母子保健ネットワーク会議 (1) 情報提供内容 ・平成25年度妊産婦情報共有システム運用状況 ・平成25年度未熟児等情報共有システム運用状況 ・ハイリスク妊産婦及び未熟児等への対応状況 ・むつ保健所管内妊産婦・未熟児等連絡担当者名簿 (2) 協議テーマ ①ハイリスク妊産婦及び未熟児等への支援 ②妊婦の喫煙について	むつ保健所 会議室	構成団体 5団体 11名 事務局 4名 計 15名
第2回 平成27年 2月26日 (木)	下北すこやか子育て百人会議 (1) 情報提供内容 下北管内における小児肥満の現状 (2) ワークショップ「地域のつながりで子どもの健康を守る～幼児期からの生活習慣について」 (3) 講演	むつグランドホテル 本館一階鳳 風	構成団体 計 93名

(5) 女性健康支援事業

思春期から更年期にいたる女性はその健康状態に応じ的確に自己管理を行うことができるよう支援します。

相談状況

月1回の定期相談の開催、来所及び電話による随時相談を行い、相談件数は4件でした。

(6) 各種医療給付及び検査実施状況

ア 小児慢性特定疾病医療費助成制度

この制度は、長期にわたり療養を必要とする児童の健全育成を目的として、対象疾病の治療にかかった費用の一部を公費によって助成するとともに、治療方法等の情報を今後の治療研究に生かすものです。平成27年1月1日から制度改正となり、対象疾病は11疾患群から14疾患群に追加・整理されました。

平成26年度末現在、管内で小児慢性特定疾病医療受給者証を所持する対象児童数は74名となっています。

イ 小児慢性特定疾患児手帳交付事業

上記アの対象児童に対し、緊急の連絡先等を記載する手帳（愛称：ひまわり手帳）を交付しています。平成26年度の管内の交付件数は9件となっています。

ウ 先天性代謝異常等検査

先天性代謝異常等検査は発見が遅れると障害の原因になる先天性の疾患を早期に発見し、治療することを目的として全ての新生児を対象に実施しています。

平成25年度から、新たな検査方法（タンデムマス法）が導入され、19疾患について検査することが出来るようになりました。

先天性代謝異常検査結果、疑陰性であったのは1件、正常1件、確定診断1件あり、市町村保健師へ情報提供し、精密検査の受診を推奨するよう依頼しました。

エ 青森県特定不妊治療費助成事業

不妊治療のうち、体外受精及び顕微授精については、1回の治療費が高額であり、その経済的負担が重いことから、特定不妊治療に要する費用の一部を助成しています。

平成26年度の管内の交付件数は47件となっています。

5 歯科保健

(1) 親と子のよい歯のコンクール

幼児や保護者及び地域社会の歯科保健への関心を高めるため、健康な歯をもつ母と子を表彰し、むつ・下北地域の母子歯科保健の推進を図るものとして、平成26年度「親と子のよい歯のコンクール」第1次選考会をむつ下北歯科医師会と共催で実施しました。

第1次選考会では、管内市町村から推薦のあった対象者65組のうち27組が参加し、参加者の中から第1位の母子を決定、また参加者全員を表彰しました。

【開催実績】

開催日	内 容	場 所	参加者
平成26年6月7日 (土)	1. 下北地域県民局地域健康福祉部 保健総室長挨拶 2. 青森県歯科医師会下北支部会会長 講評・第1位者発表 3. 第1次選考会参加者表彰	下北文化会館 2階大集会室	管内市町村より推薦の あった母子65組のうち 27組

【参加実績】

年度	コンクール対象者 (3歳児健診むし歯0本児等)	第1次選考会参加者数
23	31組	17組
24	41組	17組
25	39組	18組
26	65組	27組

6 精神保健福祉

(1) 入院通院医療事務関係

ア 精神障害者申請・通報・届出及び移送の状況（平成26年度）（単位：件）

区 分	申請通報 届出件数	調査によ り診察の 必要がな いと認め た者	診察を受けた者		移送を行った件数		
			法第29条 該当症状 の者	法第29条 該当症状 でなかつ た者	調査から 1次診察 場所まで	1次診察 場所から 2次診察 場所まで	2次診察 場所から 病院まで
一般の申請							
警察官の通報							
検察官の通報	3	3					
保護観察所長の通報							
矯正施設の長の通報	1	1					
病院の管理者の届出							
計	4	4					

イ 措置入院者

(単位：人)

25年度末患者数	26年度中新規患者数	26年度中解除患者数	26年度末患者数
0	0	0	0

ウ 入院形態別患者数（管内医療機関 平成27年3月31日現在）（単位：人）

	総 数	措置入院	医療保護入院	任意入院	その他の入院
平成24年度	37		28	9	
平成25年度	37		28	9	
平成26年度	48		30	18	

エ 病名別入院患者数（管内医療機関 平成 27 年 3 月 31 日現在）（単位：人）

	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
統合失調症	32	27	35
躁うつ病	1	9	10
精神神経症	1	1	
精神病質			
精神遅滞			
てんかん			
中毒性精神障害		1	1
その他及び不明			
脳器質性精神障害	3	3	2
その他の精神病			
計	37	37	48

オ 精神障害者保健福祉手帳所持者数（各年度末日現在）（単位：人）

	むつ市	大間町	東通村	風間浦村	佐井村	計
平成 24 年度	381	23	40	16	17	477
平成 25 年度	424	24	47	13	15	523
平成 26 年度	計	445	28	44	10	542
	1 級	98	7	13	1	122
	2 級	291	15	21	7	345
	3 級	56	6	10	2	75

カ 自立支援医療受給者証（精神通院）所持者数（平成 27 年 3 月 31 日現在）

（単位：人）

	むつ市	大間町	東通村	風間浦村	佐井村	計
症状性を含む器質性精神障害	31	2	3			36
精神作用物質使用による精神及び行動の障害	12		1	1		14
統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	379	27	36	9	11	462
気分（感情）障害	128	9	8	5	6	156
神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	55	1	3			59
生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群	1					1
成人の人格及び行動の障害	7		2			9
知的障害（精神遅滞）	30	1	2			33
心理的発達の障害	25	1	2	1		29

	むつ市	大間町	東通村	風間浦村	佐井村	計
小児（児童）期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害及び詳細不明の精神障害	5		1			6
てんかん	72	8	11	5	3	99
その他の精神障害						
分類不明	39	2	2		3	46
計	784	51	71	21	23	950

(2) 精神保健福祉相談状況

実施日 指定日（年5回） 受付時間 午後2時～3時 従事者 精神科医
 毎月第1月曜日 受付時間 午後1時～2時 従事者 精神保健福祉相談員

相談内容別相談件数 (単位：件)

		平成25年度相談件数	平成26年度相談件数	相談内容別														
				受診・入院について	通院・服薬について	生活指導等について	経済的問題	性格・行動上のこと	患者への接し方について	アルコールについて	薬物について	人間関係について	施設入所について	社会復帰について	福祉サービスについて	ひきこもりについて	自殺関連	その他
来所	定期	0	8	3	2			1		1							1	
	随時	18	12	4	1			1	1		1		1					3
	電話	44	37	16	4			5	1	1					1			9
	計	62	57	23	7			7	2	2			1		1		1	12

(3) 家庭訪問指導状況

家庭訪問指導件数

(単位：件)

	平成25年度	平成26年度	内 訳															
			平成26年度					保健師（精神保健福祉相談員を含む）による					その他の職員による					
			合計	一般	社会適応訓練	社会復帰相談指導	アルコール関係	合計	一般	社会適応訓練	社会復帰相談指導	アルコール関係	合計	一般	社会適応訓練	社会復帰相談指導	アルコール関係	
実数	24	14	14	13	1			14	13	1								
延数	42	24	24	23	1			24	23	1								

(4) 精神障害者社会適応訓練事業

訓練者の状況

		平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
管内登録事業所数		10	10	10
新規登録事業所数		0	0	0
委託事業所数		2	1	1
訓練者実数		2	1	1
訓練者の 転帰	社会復帰	1	1	0
	訓練継続	1	0	0
	その他	0	0	1

(5) 自殺対策事業

ア 自殺対策緊急強化事業

(ア) 地域特性を踏まえた自殺対策力強化事業

開催日	対 象	内 容
平成 26 年 9 月 19 日 (金)	民生委員、保健協力員、食生活改善推進員、精神保健福祉ボランティア、老人クラブ、消防団員	自殺予防研修会 ・ 情報提供 「下北地域の自殺の実情について」 むつ保健所 健康増進課 主査 横浜 まり子 ・ 講演 「うつ病の正しい理解と自殺予防について」 講師 県立精神保健福祉センター 所長 田中 治

(イ) 自殺対策ネットワーク構築事業

自殺対策関係者ネットワーク会議（こころの相談関係者ネットワーク会議）

開催日	対 象	内 容
平成 26 年 7 月 30 日 (水)	消防、警察、労働関係、介護関係、消費生活センター、市社会福祉協議会、精神保健福祉ボランティア、家族会、市町村	・ 情報提供 「下北地域の自殺の現状について」 むつ保健所 健康増進課 主査 横浜 まり子 ・ 情報交換 「各機関におけるこころの相談取組状況について」 ・ 意見交換 「こころの相談における他機関への紹介や連携について」

(6) 市町村活動への支援

ア 事例検討会への参加等

市町村名	内 容
むつ市	要保護児童ケース会議 (1 事例、計 1 回) ケース会議 (2 事例、計 2 回)
東通村	ケース会議 (4 事例、計 4 回)

イ その他

市町村保健師との同行訪問

- ・医療保護入院患者の退院届の訪問指導指示による訪問への同行 … 1 件
- ・受診援助や継続支援ケース等への同行訪問 … 8 件

(7) 精神障害者家族会及び当事者への支援

ア 精神障害者家族会

家族会名	内 容
むつ・下北メンタル福祉家族会連合会	・打合せ (1 回) ・下北地域メンタル家族会学習・交流会に参加 (1 回)
大畑町メンタル福祉家族会ひばの会	・総会に出席

〈管内家族会の状況〉

家族会名	設立年月日	事務局	会員数 (H24 年度末)
むつ・下北メンタル福祉家族会連合会	平成 21 年 7 月 23 日	アックス工房内	70 人
あじさいの会 (むつ市)	昭和 63 年 11 月 9 日	アックス工房内	13 人
北通り地区精神障害者家族会 (大間町、風間浦村、佐井村)	平成 5 年 3 月 10 日	風間浦村村民生活課	11 人
ふれあい家族会 (川内町)	平成 6 年 7 月 7 日	むつ市役所川内庁舎 市民福祉課	4 人
ひばの会 (大畑町)	平成 13 年 4 月 11 日	むつ市役所大畑庁舎 市民福祉課	12 人
ひがしどおり友の会 (東通村)	平成 17 年 3 月 22 日	会長宅	10 人
きさらぎの会 (アックス工房)	平成 23 年 2 月 27 日	アックス工房内	20 人

イ 当事者クラブ「なごみの会」への支援

- ・平成 17 年度に組織し、年間計画に基づき月 1 回定例会を実施しました。
- ・会員数は 3 名です。(事務局:会長宅)
- ・むつ市保健師とボランティアが協力し実施しました。保健所は参加しませんでした。総会資料等の作成には支援を行いました。

(8) 関係機関等連絡会議

会議名	開催月日	場所	開催内容	参加者
精神保健福祉関係者連絡会議	平成26年 6月6日 (金)	むつ保健所 会議室	(1) 説明及び情報交換 ・第33条に規定する医療保護入院に際して市町村長が行う入院同意について」一部改正 ・自立支援医療給付及び精神保健福祉手帳の事務手続きについて (2) 情報及び意見交換 ・「精神障害者の退院支援にむけて」	市町村保健福祉 障害担当者、保 健師 17名
精神障害者社会復帰支援協議会	平成27年 1月30日 (金)	公済会館	(1) 報告 社会適応訓練事業について ・事業の概要を説明 ・利用者の訓練状況を報告 ・事業所から訓練状況と今後について ・これまでの社会適応訓練事業の実績について (2) 情報提供 ・障がい者就業・生活支援センターの事業紹介について 障がい者就業・生活支援センターしもきた 杉田主任就業支援員 ・むつ総合病院メンタルヘルス科地域支援(ディケア、訪問看護)について	社会復帰施設、 社会適応訓練協 力事業所、医療 機関、公共職業 安定所、家族会、 グループホーム 市町村関係者等 27名
精神科救急医療システム連絡調整委員会	平成27年 1月30日 (金)	公済会館	(1) 事業の概要について (2) H25年度当委員会からの質問に対する回答 (3) 救急医療システム実績報告 (4) 救急医療システム実施状況 (5) 意見交換 「酔っ払いへの対応、自殺企図等について」意見が出された。	むつ下北医師会 むつ総合病院 消防本部(下北 地域・北部上北) むつ警察署 大間警察署 野辺地警察署 むつ・下北メン タル福祉家族会 連合会 7名 オブザーバー 市町村 6名

7 難病

(1) 指定難病医療費助成制度及び特定疾患治療研究事業

原因不明で治療方法が確立していない、いわゆる難病のうち、厚生労働省が定める疾病を指定難病といい、指定難病の患者に対して治療に係る医療費の一部を助成する制度を行っています。平成27年1月1日から「難病の患者に対する医療等に関する法律」が施行され、医療費助成の対象疾病が110疾病に拡大されました。同年夏頃には約300疾病に拡大する予定です。なお、制度改正前に特定疾患治療研究事業で対象であった5疾患については、負担の軽減を図ることを目的に同事業で医療費の一部を公費負担しています。

平成26年度末における医療受給者は534名です。

ア 病名別特定医療受給者数

	病名	受給者数		
		平成24年度	平成25年度	平成26年度
1	球脊髄性筋萎縮症			
2	筋萎縮性側索硬化症	6	5	6
3	脊髄性筋萎縮症			
4	原発性側索硬化症			
5	進行性核上性麻痺			3
6	パーキンソン病	73	76	72
7	大脳皮質基底核変性症			1
8	ハンチントン病			
9	神経有棘赤血球症			
10	シャルコー・マリー・トゥース病			
11	重症筋無力症	11	10	9
12	先天性筋無力症候群			
13	多発性硬化症／視神経脊髄炎	10	10	10
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー	1	1	1
15	封入体筋炎			
16	クロウ・深瀬症候群			
17	多系統萎縮症	7	7	5
18	脊髄小脳変性症（多系統萎縮症を除く。）	33	31	30
19	ライソゾーム病	3	4	4
20	副腎白質ジストロフィー			
21	ミトコンドリア病	2	2	2
22	もやもや病	6	7	10
23	プリオン病			
24	亜急性硬化性全脳炎			
25	進行性多巣性白質脳症			
26	HTLV-1関連脊髄症			
27	特発性基底核石灰化症			
28	全身性アミロイドーシス		1	2
29	ウルリッヒ病			
30	遠位型ミオパチー			

	病名	受給者数		
		平成24年度	平成25年度	平成26年度
31	ベスレムミオパチー			
32	自己貪食空胞性			
33	シュワルツ・ヤンペル症候群			
34	神経線維腫症	4	4	4
35	天疱瘡	1	1	2
36	表皮水疱症			
37	膿疱性乾癬（汎発型）	1	1	1
38	スティーヴンス・ジョンソン症候群			
39	中毒性表皮壊死症			
40	高安動脈炎	6	5	5
41	巨細胞性動脈炎			
42	結節性多発動脈炎			2
43	顕微鏡的多発血管炎	4	4	4
44	多発血管炎性肉芽腫症	2	2	2
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症			
46	悪性関節リウマチ	3	5	5
47	バージャー病	13	13	11
48	原発性抗リン脂質抗体症候群			
49	全身性エリテマトーデス	34	33	30
50	皮膚筋炎／多発性筋炎			6
51	全身性強皮症	13	16	8
52	混合性結合組織病	7	8	8
53	シェーグレン症候群			
54	成人スチル病			
55	再発性多発軟骨炎			
56	ベーチェット病	13	14	15
57	特発性拡張型心筋症	10	9	10
58	肥大型心筋症			
59	拘束型心筋症			
60	再生不良性貧血	2	2	
61	自己免疫性溶血性貧血			
62	発作性夜間ヘモグロビン尿症			
63	特発性血小板減少性紫斑病	18	16	15
64	血栓性血小板減少性紫斑病			
65	原発性免疫不全症候群			1
66	I g A腎症			
67	多発性嚢胞腎			
68	黄色靱帯骨化症	2	2	6
69	後縦靱帯骨化症	44	44	44
70	広範脊柱管狭窄症			
71	特発性大腿骨頭壊死症	22	22	22

	病名	受給者数		
		平成24年度	平成25年度	平成26年度
72	下垂体性ADH分泌異常症	10	10	
73	下垂体性TSH分泌亢進症			
74	下垂体性PRL分泌亢進症			1
75	クッシング病			
76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症			
77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症			1
78	下垂体前葉機能低下症			12
79	家族性高コレステロール血症（ホモ接合体）			
80	甲状腺ホルモン不応症			
81	先天性副腎皮質酵素欠損症			
82	先天性副腎低形成症			
83	アジソン病			
84	サルコイドーシス	17	15	16
85	特発性間質性肺炎	4	4	2
86	肺動脈性肺高血圧症			
87	肺静脈閉塞症／肺毛細血管腫症			
88	慢性血栓塞栓性肺高血圧症			
89	リンパ脈管筋腫症	1	1	1
90	網膜色素変性症	15	14	14
91	バッド・キアリ症候群			
92	特発性門脈圧亢進症			
93	原発性胆汁性肝硬変	19	23	20
94	原発性硬化症胆管炎			
95	自己免疫性肝炎			
96	クローン病	32	32	32
97	潰瘍性大腸炎	75	78	79
98	好酸球性消化管疾患			
99	慢性特発性偽性腸閉塞症			
100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症			
101	腸管神経節細胞僅少症			
102	ルビンシュタイン・テイビ症候群			
103	CFC症候群			
104	コステロ症候群			
105	チャージ症候群			
106	クリオピリン関連周期熱症候群			
107	全身型若年性特発性関節炎			
108	TNF受容体関連周期性症候群			
109	非典型溶血性尿毒症症候群			
110	ブラウ症候群			
合 計		524	532	534

イ 病名別特定疾患医療受給者数

	病名	受給者数		
		平成24年度	平成25年度	平成26年度
1	スモン	1	1	1
2	プリオン病（ヒト由来乾燥硬膜移植によるクロイツフェルト・ヤコブ病に限る。）			
3	重症多形滲出性紅斑（急性期）			
4	難治性の肝炎のうち劇症肝炎			
5	重症急性膵炎			
合計		1	1	1

(2) 難病患者地域支援対策推進事業

ア 難病患者等相談事業

(ア) 医療相談

難病患者やその家族の医療及び日常生活上の相談に対し、専門職による指導・助言を行い、在宅療養における疾患等に対する不安の解消を図りました。

開催日、開催場所	対象	参加者数	内容	個別相談
平成 26 年 7 月 31 日(木) むつ来さまい館 イベントホールB	神経・筋疾患	19 名 患者 14 名 家族 5 名	①講話・実技 「嚥下障害と食事の調整、嚥下体操 ～飲み込みづらい、むせる症状のある 方へ～」 講師： 弘前脳卒中・リハビリテーションセン ター 言語聴覚士 三浦 順子 ②交流会 「日頃の過ごし方について語り合いま しょう」	
平成 26 年 10 月 24 日(金) むつ来さまい館 イベントホールB	神経・筋疾患	14 名 患者 9 名 家族 5 名	①講話・実技 「神経難病とリハビリについて」 講師： みちのくりハビリテーションセンター 理学療法士 能登真希子 ②交流会 「冬を乗り越えるために気を付けてい ること」 ③個別相談	理学療法士

(イ) 訪問相談

医療相談に参加できない難病患者・家族が抱える日常生活及び療養上の悩みに対して相談を行うため、2名の在宅保健師に訪問相談員の証を交付し、選定した難病患者へ継続して訪問支援をしました。活動日数は12日、活動件数は延べ18件（実9件）でした。

(3) 在宅重症難病患者家族支援事業

平成26年度末現在利用者はありませんでした。

(4) その他の活動

ア 家庭訪問

主に患者や家族、関係機関から訪問依頼があった患者等に対して訪問しました。実人員 15 件、延べ 23 件行いました。

イ 所内面接指導

特定疾患医療受給者証新規交付時や更新時及び随時相談を行いました。187 件の相談件数でした。相談内容は、申請等に関する事、医療、家庭看護、福祉制度、就労、食事・栄養に関するもの等でした。

ウ 電話相談

随時電話相談を行い、相談件数は 7 件でした。

8 人材育成

(1) 初任期及び新任期保健師研修

初任期及び新任期保健師が保健師の専門性を発揮し、「みる」「つなぐ」「動かす」という地域保健活動を展開できるよう、対人支援や保健事業実施のための基本的な実践能力を身につけることを目的に研修会を開催していますが、平成 26 年度は管内に初任期保健師はいなかったため、新任期保健師のみの研修を開催しました。

開催月日	内 容	参加者数
平成 26 年 9 月 29 日 (月)	①「I LOVE 下北健康 21(第 2 次)」について ②保健師活動の推進について ③組織の中でキラリとひかる保健師活動を展開するためには 於：むつ保健所	新任期保健師 6 名
平成 26 年 12 月 5 日 (金)	①市町村等「健活」推進のための地域診断について ②平成 24 年度特定健診データ分析結果について ③特定健診等データ分析結果の効果的な活用について 於：むつ保健所	新任期保健師 4 名
平成 27 年 3 月 9 日 (月)	①事例検討 ②情報交換及び話し合い ③到達目標及び行動目標達成度チェック 於：むつ保健所	新任期保健師 5 名 市町村指導保健師 2 名

(2) 青森県新任等保健師育成支援事業

市町村の 20 歳代等の若手保健師が行う保健活動について、行政機関で保健活動を経験したことのある退職保健師がトレーナー保健師として直接支援を行い、「地域を見る能力」「地域に暮らす人々や資源をつなぐ能力」「地域を動かす能力」等、保健師が有する専門能力の向上を図ることを目的に実施しています。

平成 26 年度は、事業の活用はありませんでした。

(3) 青森県保健所保健師等育成支援事業

地域県民局健康福祉部保健総室の新任保健師が行う保健活動について、行政機関で保健活動を経験したことのある退職保健師がトレーナー保健師として直接支援を行い、「地域を見る能力」「地域に暮らす人々や資源をつなぐ能力」等、保健師が有する専門能力の向上を図ることを目的に実施しています。

平成26年度は、対象者がなかったため、実施しませんでした。

(4) 中堅期保健師研修

開催月日	内 容	参加者数
平成26年 12月5日 (金)	講話および演習 「市町村等「健活」推進のための地域診断について」 講師：がん・生活習慣病対策課 技師 葛原 彩 情報提供 「平成24年度特定健診データ分析結果について」 下北地域県民局地域健康福祉部保健総室 主幹 加賀谷久子、技師 盛美咲 意見交換 「特定健診データ分析結果の効果的な活用方法について」 於：むつ保健所	保健師16名 (うち中堅期6名)

(5) 保健師連絡会議

市町村のリーダー期及びリーダー保健師がその機能を発揮し、チームリーダーとしての役割を果たすことを目的に保健師連絡会議を2回開催しました。

開催月日	内 容	参加者数
平成26年 7月16日 (水)	①青森県保健師活動指針について ②ソーシャルキャピタルの醸成について ③自然災害時に備えた平常時の取組について ④下北地域健康なまちづくり事業について ⑤健康増進計画に係る今年度の取組について ⑥リーダーとして思うこと、次期リーダーとして思うこと とは 於：むつ保健所	市町村保健師8名 所内保健師等7名
平成27年 2月27日 (金)	①I LOVE 下北健康21(第2次)の進捗状況について ②平成26年度下北地域健康なまちづくり事業の取組状況について ③市町村の保健活動状況について(健康づくり宣言や次年度の重点活動等) 於：むつ保健所	市町村保健師6名 所内保健師等7名

9 総合的地域診断システム構築事業

地域及び保健所関連業務に係るデータを総合的に分析し、企画評価に活用することにより、複雑多様化する健康課題の解決に向けた的確で効果的な健康施策を推進することを目的に、糖尿病地域診断機能強化推進事業及び総合的地域診断システム推進事業を実施しました。

(1) 市町村等「健活」推進のための地域診断事業

これまでも特定健康診査データ及びレセプトデータを用いた地域診断を実施してきたが、レセプトデータをより分析しやすいように新たにツールが作成されたことから、このツールを用いて、市町村がレセプトデータの分析を行うことにより、地域診断を実施し、より効果的で効率的な「健活」を推進できるようにすることを目的に実施しました。

開催月日	内 容	参加者数
平成 26 年 12 月 5 日 (金)	講話および演習 「市町村等「健活」推進のための地域診断について」 講師：がん・生活習慣病対策課 技師 葛原 彩 情報提供 「平成 24 年度特定健診データ分析結果について」 下北地域県民局地域健康福祉部保健総室 主幹 加賀谷久子、技師 盛美咲 意見交換 「特定健診データ分析結果の効果的な活用方法について」 於：むつ保健所	保健師 16 名 (市町村 9 名、保健所 7 名)

(2) 総合的地域診断システム推進事業

県本庁や保健所が担うべき情報分析機能を強化するために、ITを活用した「知(情報)の伝承」システムを構築するため、難病・精神関係の分析のためのツールが平成 23 年度開発され、相談等で活用が図られています。

1 0 組織育成

(1) 保健協力員連絡会

健康づくりの担い手である保健協力員活動の活性化を図り、地域住民の健康水準の向上につなげるために、自主的活動に向けての支援を行いました。

ア 市町村保健協力員配置状況(平成 26 年度)

(単位：人)

市町村名	むつ市 むつ地区	むつ市 川内地区	むつ市 大畑地区	むつ市 脇野沢地区	大間町	東通村	風間浦村	佐井村	計
協力員数	145	54	77	26	39	60	30	34	465
組織会の有無	有	有	有	有	有	有	有	有	
設置年月日	S38 年 1 月	S36 年 9 月	S33 年 4 月	H7 年 7 月	S54 年 1 月	H6 年 11 月	S54 年 7 月	S48 年 4 月	

イ 保健協力員連絡・研修会事業

青森県国民健康保険団体連合会からの助成を受け実施しました。

役員会で研修内容を計画し、それぞれが役割を果たし、主体性を持って取り組みました。

開催日	場 所	研修内容	参加
平成 26 年 6 月 9 日 (月)	むつ保健所	第 1 回管内保健協力員連絡会役員会 1. 平成 26 年度役員体制について 2. 平成 25 年度下北地方保健協力員連絡会実績報告 3. 平成 25 年度収支決算報告 4. 平成 26 年度下北地方保健協力員連絡研修会について 5. 各市町村の平成 26 年度活動計画について 6. I LOVE 下北健康 21 (第 2 次) について 7. 日当及び旅費について	21 人
平成 26 年 11 月 4 日 (火)	むつ来さまい館	平成 26 年度下北地方保健協力員連絡会研修会 1. 健康教育サポーター育成研修会 「今を変えれば！未来は変わる！！健康教養向上に向けて～生活習慣病を切り口として～」 講師：一般社団法人 青森県薬剤師会衛生検査センター所長 川村 仁氏 2. 情報提供 「心を動かす健（検）診のススメ」 青森県国民健康保険団体連合会 保健活動推進専門員 澤谷 悦子 氏 3. DVD 上映（昼食中） 「来さ MY 健康！めざせ下北平均寿命アップ！ ～家族みんなで野菜を食べよう～」 4. 運動 「自宅でできる簡単運動」 講師 インストラクター 佐々木 絵里子氏 5. 交流会 「保健協力員として楽しく活動するためには」	90 人
平成 27 年 2 月 16 日 (月)	むつ保健所	第 2 回管内保健協力員連絡会役員会 ①平成 26 年度活動報告、収支決算報告 ②平成 27 年度活動計画案及び予算案について ③平成 27 年度役員体制について ④情報交換 ・各地区活動経過報告 ・その他	18 人

(2) 食生活改善推進員連絡協議会

地域に密着した食生活改善活動にあたる食生活改善推進員の調理実習等地区組織活動を指導、支援しました。

ア 市町村食生活改善推進員の配置状況

(平成 26 年 4 月現在) (人)

市町村名	むつ市 むつ地区	むつ市 川内地区	むつ市 大畑地区	むつ市 脇野沢地区	大間町	東通村	風間浦村	佐井村	合計
会員数	40	31	20	11	23	33	36	15	209

イ 管内食生活改善推進員連絡協議会の育成・支援

事業名	年月日	事業内容	参加人数 (参加会員数)	場所
総会 及び 研修会	26. 5. 16	管内食生活改善推進員連絡協議会 総会並びに研修会	68名 (58名)	下北文化会館
	26. 6. 2	青森県食生活改善推進員連絡協議会 総会並びに研修会	69名 (61名)	リンクステーションホール青森
	26. 9. 1 ～2	食生活改善推進員リーダー 北海道・東北ブロック研修会	1名	秋田市
管内合同研修会	26. 6. 18	「減塩メニュー」 当番：むつ市大畑	40名 (34名)	下北文化会館
日本食生活協会委託事業	4月～3月	生涯骨太クッキング（ロコモ予防）	87名 (27名)	大畑地区・大間町・東通村・風間浦村
		おやこの食育教室	157名 (27名)	川内地区・脇野沢地区・風間浦村
		低栄養・認知症予防教室	32名 (5名)	むつ地区
		ヘルスマイトが「TUNAGU」（繋ぐ）パートナーシップ事業	75名 (28名)	むつ地区・大間町・佐井村
		ヘルスマイトが「TUNAGU」（繋ぐ）パートナーシップ事業家庭訪問	464軒 (72名)	全地区
		食育推進月間事業(普及啓発用チラシ配布、3回)	307名 (17名)	川内地区
自主活動	4月～3月	生涯骨太クッキング		全地区
		おやこの食育教室		
		男性のための料理教室		
管内役員会	26. 4. 24	総会の準備（資料印刷等）	9名	むつ保健所
	26. 6. 9	合同研修会打合せ、県協議会役員会報告	8名	
	26. 8. 20	下北地域健康アップフォーラム打合せ、県協議会役員会報告	8名	
県理事会	26. 4. 21	総会にむけて他	1名	青森市
	26. 5. 8	総会にむけて他	1名	
	26. 6. 12	総会の反省、26年度委託事業について	1名	
	26. 12. 19 ～20	食育の日チラシ配布、各事業の進捗状況について他	1名	平川市
その他	26. 10. 28	下北地域健康アップフォーラム試食提供 事前練習会	40名 (36名)	下北文化会館
	26. 11. 16 11. 30	味感を育む「だし活」事業（だしの試飲及び チラシ配布）	270名 (8人)	マエダ本店、ユニバースむつ旭町店
	26. 11. 22	下北地域健康アップフォーラム試食提供	180名 (30名)	下北文化会館

1 1 虚偽・誇大広告の禁止等食品の表示に関する指導

健康増進法に基づき、虚偽・誇大広告の禁止、栄養表示基準制度等に関する食品の表示が規定通りに行われることを目的として食品製造業者からの相談を受けておりますが、虚偽・誇大広告の禁止に関すること及び栄養表示基準制度に関する表示の相談はありませんでした。

1 2 石綿（アスベスト）に係る健康相談状況

石綿（アスベスト）に係る健康被害状況について関係企業から相次いで公表されていることを契機として、住民の石綿に対する健康不安が高まっていることを受けて、県では、国の指示を受けて保健所においてアスベストに関する健康相談を平成 17 年 7 月より実施し、平成 26 年度は、来所相談及び石綿健康被害救済給付申請はありませんでした。